

最上小国川清流未来ニュース

令和5年9月30日 発行
最上小国川清流未来振興機構

第30号

最上小国川鮎釣り甲子園大会開催！



7月29日（土）、最上小国川の最上町おらだの川公園付近を会場に、第4回最上小国川鮎釣り甲子園大会を開催しました。今回は最上地域のほか鶴岡市からも参加者が集まり、計25名の高校生が、快晴の中、地元の鮎釣り名人の指導のもと3時間の熱戦を繰り広げました。

開会式には、山形県最上総合支庁の菅原 和彦支庁長、最上町の高橋 重美町長、舟形町の森 富広町長、小国川漁業協同組合の高橋 光明代表理事組合長、伊藤 重成山形県議会議員から出席いただきました。参加者を代表して新庄北高等学校2年生の阿部 真宙さん（最上町）が選手宣誓を行い、「最上小国川の地域の魅力を感じながら、正々堂々競技することを誓います」と力強く述べました。



フィッシングチャッカ屋(新庄市)井上 英治様から競技方法や鮎釣りの手法について説明をしていただいた後、各々釣り場に向かい一斉に友釣りを開始しました。競技は、快晴の下3時間行われ、熱戦の末、以下の方々が見事入賞しました。



1 佐藤 蓮さん (新庄東高等学校 1年)
菅 紫音さん (")

2 阿部真宙さん (新庄北高等学校 2年)
阿部真大さん (")

3 佐藤広成さん (新庄東高等学校 1年)



入賞者には最上、舟形両町の特産品である米やマッシュルームの詰め合わせ、クーラーボックス等の景品を贈呈しました。昼食は、最上小国川流域の味覚として最上町の「たらふく工房」さん特製の鮎やアスパラを使ったお弁当をいただきました。また、参加者全員には、参加賞として帽子やTシャツなど釣り具メーカーからの協賛の品を配りました。(協賛いただいた方々：フィッシングチャッカ屋様、株式会社オーナー様、株式会社がまかつ様、株式会社シマノ様)

参加した高校生からは、「鮎の力強さや、知らないだけで身近なところに楽しく遊べる場所がたくさんあることを知った」、「鮎釣りの楽しさ、地域の自然の良さを学んだ」といった声をいただきました。大会を通じ、地元の人との交流や、最上小国川の豊かな自然、鮎釣り文化を体験してもらうことで、ふるさと最上への愛着を一層深めてもらうことができました。

鮎釣り体験講座 in 舟形

8月27日(日)、舟形町のアユパークを会場に、「鮎釣り体験講座 in 舟形」を開催しました。舟形中学校の生徒と舟形町職員が参加し、地元の鮎釣り名人の指導を受けながら初めての鮎釣りを体験しました。釣り体験後には参加者全員でのごみ拾いを行い、最上小国川での鮎釣りの楽しさや川をきれいにすることの大切さを自然の中で実感していただきました。



第8回 最上小国川写真コンテスト作品募集中

「未来に伝えたい、私たちの最上小国川」をテーマに写真コンテストを開催しています。

最上小国川の魅力(最上小国川の風景、体験や思い出など)を撮影した作品を募集しています。

【応募締切】

令和5年11月30日(木)まで
(当日消印有効)

【入賞】

賞金のほか、「最上小国川流域の特産物」をプレゼント
※詳しくは下記からご確認ください。



【お問い合わせ先】

最上小国川清流未来振興機構(山形県最上総合支庁総務企画部総務課連携支援室内)：0233-29-1238

※ 最上小国川清流未来振興機構のHPでも、流域での地域づくり活動・観光情報などを掲載していますので、是非ご覧ください。(http://seiryu-mogamiogunigawa.jp/)